

未来がもっと輝きだす

# 南九州西回り自動車道

熊本・鹿児島両県の関係市町村の市長及び議会議長で構成する南九州西回り自動車道建設促進期成会は、昭和55年に設立され、本自動車道の1日も早い全線開通に向け、国などの関係機関に対し、要望活動を行ってまいります。

## 概要

南九州西回り自動車道は、高規格幹線道路網の一環として計画された道路であり、九州南西部の地域経済の活性化、高速定時性の確保に大きく寄与するものです。

本路線は、八代市を起点とし、水俣市・出水市・阿久根市・薩摩川内市などを経由して鹿児島市に至る延長約140kmの一般国道の自動車専用道路です。

## 意義

本圏域は、九州の南西部に位置しており、総人口は九州7県の約8%、総面積は九州の約7.3%を占め、温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれた地域です。

しかし、八代市や薩摩川内市、鹿児島市などの工業地帯を有する都市部を除く構成市町の多くは人口減少傾向にあり、地域活性化のための効果的な取組みが必要とされています。

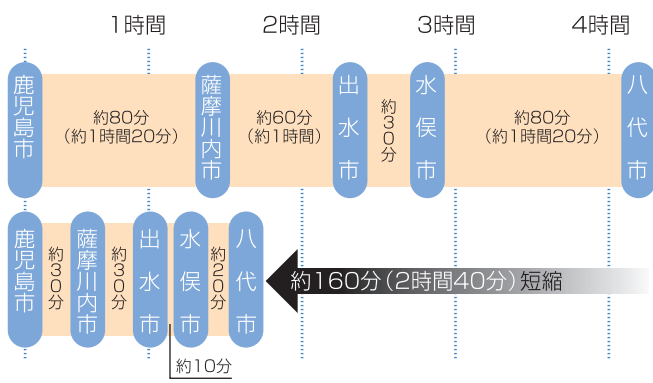
南九州西回り自動車道は、地域活性化を図る上で産業、人口、文化などの多くの分野において、その整備効果を最大限に活用した、地域施策を推進できるものと期待されています。

## 整備効果

南九州西回り自動車道が全線開通すると、八代～鹿児島間がぐんと近くなり、産業への貢献、企業立地条件の向上、観光流動の活性化、防災・医療面での貢献等様々な効果が期待できます。

## 時間短縮効果

八代～鹿児島間が約4時間10分から約1時間30分に短縮されます。



## 渋滞緩和

国道3号線では交通量が減少することで渋滞が緩和されます。

